

# 十字園だより

第135号



## いぶき寮

### 季節を感じて



いぶき寮では、季節を感じられる装飾作りに取り組んでいます。4月はハチとテントウ虫の装飾を作成しました。色画用紙に自由に絵を描く方、ペンで色を塗る方。シールで飾りつける方。「何を描こうか」「どんな風に色を使おうか」色々悩んでいると、その人らしい装飾が出来上がります。出来上がった装飾はいぶき寮内の壁や天井に吊るして飾ります。飾られた装飾を見て、みなさん、達成感と満足感に包まれていました。

今度、外へ歩行に出た時は、空を飛んでいる本物のハチやテントウ虫を見かけられると良いですね。「次は何をつくるのかな」と気にされている方もいらっしやいました。次の季節も楽しみで、待ち遠しいですね。今年も季節を感じられる活動を通して一年を満喫していきましょう！（馬場）





● **感染症対策係**

これまでもインフルエンザ等の流行時に様々な対策や工夫をしてきましたが、今回は新型コロナウイルスによる未知の状況への対応という事で情報収集やコミュニケーションを重ねています。

この度の対策の実施とその評価により、正確な情報共有の必要性、対策の目的の理解、物品の使い勝手、日常の対策の重要性などを実感する事ができました。今回の学びを活かし、今後もマニュアルの検討を重ね、平時のうちに行える準備をしっかりと行っていきたいと思います。

● **ご利用者・ご家族・関係者の皆様にも**

ご協力をお願いしますが、ご理解いただけましたようお願い申し上げます。



● **人権擁護係**

今年度は、身体拘束に関するマニュアル作り、新人職員にも手順や最終目的等、身体拘束の仕組みがしっかりと理解できるよう充実した園内研修を行い、十字園全体の専門性を高めていきたいと思えます。

虐待防止に関しても、引き続き定期的にチェックリストを行い普段の支援を振り返るこ

## ホランティア通信



除草をしてくださっている五十嵐民協の皆さんです、いつもありがとうございます。(5月13日)

とで、虐待の芽を摘み、より良い支援につながるよう取り組んでいきます。

また、昨年度ご意見を多く頂いた身だしなみに関しては、チェック項目等で確認できる体制を作り、改善に努めていきたいと思えます。(川端)

### 今、思う事

園長 高橋 英樹

この度の新型コロナウイルス感染症に際してご家族を始めとした関係者の御尽力のおかげで感染拡大せず収束することが出来た。改めてこの場を借りて御礼を申し上げたい。

一方、手前で恐縮ではあるが、職員が本心に頑張ってくれたと思う。自らの感染への不安を抱きつつ、利用者やご家族の不安を受け止め業務を遂行してくれたことは只々頭が下がる想いである。

今回の対応で、コロナ感染に対する「誤解」がひとり歩きしてしまうことの怖さを感じた。周知の事実であるが、コロナウイルスは飛沫感染や接触感染が主であり空気感染は相当低いとされている。しかし、施設内を出入りした事で他サービスの利用が滞る場

面を目にした事は残念であった。不安を抱く事は理解しつつも、過度な自粛や行動制約は権利侵害に繋がりがかねない。と危惧する。改めて、「正しく恐れる」事は、重要であるという認識に立つ。奇しくも四月二十六日付で新潟市障がい福祉課長名で「提供拒否の禁止」に抵触しない事業運営をしていくよう文書が出された事はその事を物語っている。

当面の間、コロナウイルスとの戦いは続くであろう。十字園のスローガンである「十字園に関わるすべての人に寄り添います。」を再確認し、利用者、ご家族そして職員に寄り添いながら事業経営していかねばならないと強く思う。

### 家族会の皆さんへ

家族会会長 金田 和子

百年に一度といわれるコロナ禍は、年が変わってもおさまるところか、終息の目処も経っていない状態です。

昨年度と同じく、総会、寮別懇談会、カーニバルも中止一年以上、寮に入ることさえできていません。

心配されていたコロナ感染等も、園の迅速な対応と各家庭への報告により、安心する事が出来ました。

十字園は、いろいろな方が生活する施設です。大変な事の連続でしょうが、高橋園長をはじめ、関係者の方々、今後ともよろしくお願いたします。

先日、十字園開設三〇周年記念誌を読みました。発行日は平成21年、今から7年前です。

いろいろな分野で変化した事がたくさんありますが、家族の気持ち、願いとは変わらないものだと、つくづく感じました。

家族会の皆さん、先の見えない大変な状況ではありますが、健康に気をつけて元気でいてください。

マスクをはずして、おもいきりお話ししたいですね。

その時を楽しみにしています。今後ともよろしくお願いたします。





冒頭でも触れましたが、現状の閉塞した生活でも、貴重な限りある時間を有意義に過ごしていただけるよう微力ながら尽力をいたす所存です。で、どうぞよろしくお願い致します。

- 支援目標は四点挙げさせていただきます。
- ①個性と特性に応じた日中活動を実施します。
  - ②健康に過ごせるよう体調管理に努めます。
  - ③年間一人3回以上、家族会費を使用した余暇活動に参加していただきます。
  - ④事故防止に努めます。
- 支援目標も立案しただけでは意味を成しませんので、具体的な取り組み内容と三ヶ月毎に振り返る機会を設けて、微調整しながら進めていきます。

# ひのき寮・けやき寮

主任 高橋 正人

今年度から、ひのき寮とけやき寮の男性寮を担当させていただきます。本原稿作成時点で、未だに新型コロナウイルスの脅威に晒されている現況で、制限制約された生活ではありますが、今年度の支援目標と取り組みを考える上で大事にしたのは、現状の生活の想像から一歩前進した、生活の創造力と推進力だと考えました。大前提である支援の方針として、「ご利用される皆様の個性を大切に、その個性を活かした生活や活動をお手伝いさせていただきます。」と考えております。

## けやき寮 寮活動

### ピザパーティー

コロナウイルス対策で食事外出に行けないため、園内でピザパーティーを開催しました。ピザが到着すると思いきいピザ取り「おいしい!!」と言い皆さん喜んで食べていました。大きく、たくさんあったピザもあっという間になくなりました。おいしいものを食べ、談笑し、とても良い時間になりました。

今後も利用者の皆さんが園内で楽しめる余暇や行事を考えていきたいです。  
(小島)



### リスクマネジメント

『事故防止に努める』という事を長期目標とし、報告書が出た際は、関係者と共に原因分析に努め、今後の対応を検討しています。

そして、事故には繋がらなくても、ヒヤッとした事を職員間で出し合いながら情報共有をし、一件でも多くの事故防止に繋げ、安心し、より快適な生活が送れる様に取り組みたいと思います。  
(中山)



## ひのき寮 寮活動

### 日中活動の目標

昨年度はなかなか外に出られない事や、皆さんが楽しみにされていた行事が中止になり、利用者の方も大変な思いをされたと思います。

そのため、十字園の生活の一部である日中活動がマンネリ化しないよう、月に一回は活動時間に全員が参加できるようなレクリエーションを行っていく予定です。

5月はひのき寮ファームにサツマイモを植えました。皆さん収穫の時期になるのを楽しみにしています。(堀井)



### 今年度の余暇活動

今年度も前年度に引き続き、デリバリーを中心に余暇の機会を設けていきたいと思えます。感染症の状況をみながら外出も検討しつつ、主にデリバリーで給食とはまた違った趣の物を楽しんで頂きます。

他寮の余暇係とも連携し、更に余暇活動を充実できるよう皆で知恵を出し合っていきたいと考えています。

今年度も利用者の皆様の生活に彩を提供できるよう頑張ります。(矢澤)





# いぶき寮・さつき寮

主任 木村 裕介

今年度より、女性寮主任をさせて頂いておられます木村です。これまでは、一階男性寮のき寮にありました。現在同性介助のともいぶき寮男性ご利用者の身体介助も行っていきます。今年度、女性寮の目標は、【専門性を生かした協同システムの構築。職員同士の多様な意見を生かした支援をします。】です。

これまでもいぶき寮とさつき寮の合同行事や、職員同士のフォロー等協同する場面がありました。今後より一層協同での支援を行うことができるよう努めていきます。

協同での支援を行うにあたり、まず相手を知ることから始まります。相手を知り、自分を知り、お互いの意見を交換することで、お互いを認め合い信頼・尊重できると思っています。そして、その

多様な考え方をご利用者の支援に生かしていくことができると思っています。

いぶき寮の重点目標は、

①ご利用者の生活リズムに沿ったスローライフの推進

②重度高齢化支援です。

スローライフとは、時間に追われずに余裕を持って人生を楽しむという概念、あるいはこの概念に沿った生活様式をさす(日本大百科全書より)とあります。ご利用者の生活を取り巻く環境をより見直し、利益・効率重視から暮らし・生きがいの尊重への推進を行っていきます。

さつき寮の重点目標は、  
①お一人お一人のペースに合わせた生活、活動参加の機会を保障する。

②個別支援です。

ご利用者お一人お一人のペースに職員が配慮することを念頭に支援を継続していきます。

お手数を多々お掛けいたしますが、よろしくお願いいたします。

## さつき寮

### 寮活動

#### ピザパーティー

いつもは十字園の給食。でも、今日の昼食は月に一度のお楽しみ♥ さつき寮では、少人数ずつ順番に、美味しいものを注文して食べています。なかなか外には出られないご時世ですが、外食気分を満喫♥ みなさん夢中になって食べました。



#### 訓練棟での活動

日中活動の時間は、みなさんお一人お一人に合った作業道具を提供しています。訓練棟で活動する方はお絵描きをされたり、ピース通し、メモ帳づくり、パズル、算数のプリント等手先や頭を使う様々な作業を行っています。また、今の機能をできるだけ維持していけるように歩行にも積極的に取り組んでいます。活動への参加を通し、これからも健康で穏やかに過ごしていただきたいです。(樋浦)



## いぶき寮

### 寮活動

#### 散歩

新年度のスタートから早くも一年が経ち、穏やかで過ごしやすい季節となりました。外歩行の際には、色とりどりのチューリップを觀賞しながら元気いっぱい歩かれています。

また、お花を摘んで「綺麗だね。」と職員に見せてくださるご利用者様もいらっしゃいます。戸外で過ごす時間を少しずつ増やしながら、季節や自然を楽しんでいきたいと思ひます。(寺門)



#### 高齢支援

いぶき寮には介護を必要とする方がいらっしゃいます。そこで、今年度から、車椅子やベッドへの移乗に有効なスライディングボードの使用を始めました。

このボードをお尻の下に敷くことで、持ち上げなくても、お尻を滑らせ移乗ができます。今までは移乗の際に怖がる方もいらっしゃいましたが、ボードを活用することで移乗時の摩擦が軽減され、ご利用者の方も安心して下さるようになりました。(大淵)

